

2026 年 10 月 14 日

**【ニュルブルクリンク耐久シリーズ 第 10 戦 / ニュルブルクリンク(ドイツ)】
ADVAN 装着の BMW M4 GT3 EVO が
NLS Speed-Trophy のチャンピオンを獲得！**



2026 年の NLS(ニュルブルクリンク耐久シリーズ)は 10 月 10 日(土)にシーズン最終戦が開催され、ADVAN カラーの BMW M4 GT3 EVO で戦う BMW M Motorsport(Schubert Motorsport)が最高峰の SP9 PRO クラスを 3 位でフィニッシュし NLS Speed-Trophy のシリーズチャンピオンを獲得。2023 年以来 3 年ぶりに、ADVAN カラーのマシンが過酷なニュルブルクリンクでの栄冠を手中におさめた。

今シーズン、ヨコハマタイヤは BMW M Motorsport のオフィシャルパートナーとして NLS の他、ニュルブルクリンク 24 時間レースにも参戦した。ADVAN を装着した BMW M3 Touring 24H が 24 時間レースで総合 4 位 (SP-X クラス優勝) の好成績だったことも記憶に新しい。

現地時間の 10 月 10 日 8 時 30 分から 90 分間で行われた NLS 第 10 戦の公式予選は、雨は止んだものの影響が残り路面はウェットコンディション。カーナンバー-77 をつける BMW M4 GT3 EVO はジョーダン・ペッパー選手とティム・トランミッツのペア、濡れた路面に足をすくわれてアクシデントを喫するマシンも見受けられる中で開始からしばらくは状況を見守るためピットでステイを続けた。予選開始から 40 分ほどでコースイン、朝日に照らされ徐々に路面コンディションが回復していく中で 9 分 34 秒 131 のタイムを残し、クラス 5 番手(総合 16 位)の決勝スターティンググリッドを獲得した。

また、同じく SP9 PRO クラスに YOKOHAMA/ADVAN で参戦する Haupt Racing Team のカーナンバー64/ フォード・マスタング GT3 は、ヴィンセント・コルプ選手とフランク・スティップラー選手のペアが 9 分 27 秒 613 のベストタイムで、こちらはクラス 4 番手(総合 12 位)というリザルトを刻んだ。



予選終了から 2 時間という短いインターバルをはさんで迎えた 4 時間の決勝スタート、眩しい陽射しがコースを照らしコンディションはドライへと回復して、いよいよ一年間を締めくる今シーズン最後の戦いは火蓋が切られた。BMW M4 GT3 EVO はトランミッツ選手、フォード・マスタング GT3 はスティップラー選手がスタートドライバーをつとめ、それぞれ 6 列目と 8 列目のグリッドから高らかなエギゾーストノートとともに 1 コーナーへアプローチ。BMW M4 GT3 EVO はアウト側のラインから 1 コーナーへ入ると、2～3 コーナーをイン側のラインで駆け抜け、オープニングラップでポジションをクラス 4 番手(総合 8 位)にアップした。また、マスタング GT3 はクラス 3 番手(総合 4 位)とこちらもポジションアップ、2 台揃ってさらなるポジションアップへ果敢な攻めの走りを見せていく。

しかし 3 周目、マスタング GT3 がアイス・クルフェでアクシデント、左リア周りの破損を修復するため緊急ピットインを強いられ惜しくも遅れをとる展開となってしまった。

一方の BMW M4 GT3 EVO は引き続き上位グループの一角、しかし膠着状態となっていたこともあり 5 周を終えて早めに 1 回目のピットストップを敢行。ドライバー交代は行わずトランミッツ選手が 2 分 24 秒のストップでコースへ復帰した。その後、6 周を終えてライバルもピットイン、これで SP9 PRO クラス勢は戦列を離れた 1 台を除いて全車が 1 回目のピットストップを完了した。



スタートから 1 時間 20 分を過ぎ、9 周を終えた時点で BMW M4 GT3 EVO はクラス 2 番手(総合 3 位)。同じ SP9 PRO クラスの 17 号車・ポルシェが若干リード、23 秒ほど離れた 2 番手争いは BMW M4 GT3 EVO を含む 4 台がテール・トゥ・ノーズという状態だ。そんな中、10 周目にトランミッツ選手は前を行く SP9 PRO-AM クラスのメルセデス-AMG GT3 とサイド・バイ・サイドを交えた接近戦を展開。トランミッツ選手は前に出て、レースは 11

周目に突入。この後、グランプリコースでパスしたマシンに追突されてヒヤリとする場面があったものの支障無くポジションもそのままに走行を継続した。

決勝の折り返しとなる 2 時間経過の前後で 2 回目のピットイン、BMW M4 GT3 EVO は 13 周を終えてドライバーをペッパー選手に交代。続く 14 周目を終えてトップグループの 2 台が入りレースは後半戦へ突入する。BMW M4 GT3 EVO はクラス／総合 3 番手となり、ペッパー選手は 18 周目に自車ベストラップをたたき出して前を行く 2 台を追いかける。コース上ではアクシデントもいくつか発生し、速度制限区間の多い周もあったが、20 周を終えた時点で 2 番手との差はおよそ 7 秒まで詰め寄っていった。

そして時計は 15 時となり、いよいよレースは最後の 1 時間に突入。21 周を終えて BMW M4 GT3 EVO は総合トップ車両と同じタイミングで 3 回目のピットイン、2 番手のマシンはその翌周に入り、これで各車とも 3 回のピットを消化して勝負は最終決戦へ。BMW M4 GT3 EVO は AT1 クラスの 아우ディ・R8 が前に出たため、SP9 PRO クラスの 3 位は変わらないものの総合 4 番手にドロップしたことから、ペッパー選手が総合トップ 3 の一角へ復帰するべくプッシュを重ねていく。

アウディの真後ろにつけたペッパー選手が猛追、プレッシャーをかけながらレースはファイナルラップへ。1 コーナーの立ち上がりから鋭い加速で 2 コーナーのアウト側からアウディの横へ並ぶと、軽い接触も伴いながら互いに一步も引かないクリーンなバトルを展開。最後はペッパー選手が前に出てチェッカーまで運び、クラス／総合 3 位でフィニッシュ。前半を担当したトランミッツ選手は「最初の数周はトラフィックの中でかなり難しかったですが、最終的に 3 位はスタート位置を考えると達成できる最高の結果でした」と NLS の公式インタビューに喜びの声を寄せた。

一方、アクシデントから復帰して粘り強い戦いを見せたマスタング GT3 も SP9 PRO クラスの 4 位(総合 10 位)でチェッカーを受けて、YOKOHAMA/ADVAN 勢は揃って完走した。



この結果、77 号車の BMW M Motorsport(Schubert Motorsport)は、NLS Speed-Trophy 2026 において 25 点を加算、合計 183 点としてシリーズチャンピオンを獲得。ADVAN カラーをまとったマシンが、2023 年以来 3 年ぶりに栄冠を手中におさめた。また、KW-Team-Trophy 2026 でも SP9 PRO クラスのチャンピオンに輝き、チームは自身の SNS で「これらの成功は、シーズン全体にわたる素晴らしいチームの努力の結果です。特別な感謝を、このチームに貢献したすべてのドライバーに捧げます。同じく特別な感謝を、ヨコハマのタイヤパートナーに捧げます！ 私たちはシーズン全体を通じてパフォーマンスを向上させました。私たちは一年に渡る密接な協力、信頼、そして支援に感謝しています。ヨコハマのリヴァリーが際立つこのチームは、レース会場でこのパートナーシップを強く主張できました。」と、喜びと感謝のコメントを掲載した。

タイヤエンジニアのコメント

■中崎敬介 [横浜ゴム タイヤ製品開発本部 MST 開発部 技術開発 1 グループ・リーダー]

BMW のチームとは、とにかくたくさんコミュニケーションをしました。金曜日のフリー走行は半日近くの長い時間を走れるのですが、確認のために走ってピットに戻り、クルマの状態を説明してくれる、それに対しタイヤからの見解を述べる、また出ていき戻ってきて、、、と、その繰り返しでしっかり話し込みをしました。そのようなコミュニケーションでクルマ全体の方向性を共有できたことが、コンスタントに好成績を積み上げられた要因だと思います。

もちろんまだまだ課題はあります。24 時間でも勝ちたいですし、まだまだ挑戦したいと思っています。

■ 2026年 ニュルブルクリンク耐久シリーズ BMW M Motorsport(Schubert Motorsport) 77号車 戦績一覧

ラウンド	開催日	ドライバー	総合 (クラス) 順位
第1戦	3月14日(土)	—	=中 止=
第2戦	3月21日(土)	イエンス・クリングマン／ウーゴ・デ・ワイルド／チャールズ・ウィーツ	11位 (10位)
第3戦	4月11日(土)	マルコ・ヴィットマン／フィリップ・エング／ロビン・フラインス	優勝 (優勝)
第4戦	4月18日(土)	—	=中 止=
第5戦	4月19日(日)	チャールズ・ウィーツ／ウーゴ・デ・ワイルド	6位 (6位)
第6戦	6月20日(土)	イエンス・クリングマン／ロビン・フラインス	準優勝 (準優勝)
第7戦	8月 1日(土)	イエンス・クリングマン／ウーゴ・デ・ワイルド／ティム・トランミツ	準優勝 (準優勝)
第8戦	9月12日(土)	イエンス・クリングマン／ジョーダン・ベッパ／ウーゴ・デ・ワイルド	優勝 (優勝)
第9戦	9月13日(日)	イエンス・クリングマン／ジョーダン・ベッパ／ウーゴ・デ・ワイルド	リタイア
第10戦	10月10日(土)	ジョーダン・ベッパ／ティム・トランミツ	3位 (3位)

■ 2026年 ニュルブルクリンク24時間レース BMW M Motorsport(Schubert Motorsport) 77号車 戦績

NUR 24	5月16-17日	マルコ・ヴィットマン／フィリップ・エング／チャールズ・ウィーツ／ロビン・フラインス	8位 (7位)
--------	----------	---	---------